



2024 (令和6) 年 2月 1日



第11号

伊賀市立柘植小学校

HP二次元コード

校長 松本 徹

## あたり前の日常に感謝する気持ち

1月1日(月)に起こった能登半島地震から、ちょうど1カ月が経ちました。この地震によりたくさんの方々が亡くなられ、今もなお安否不明になっている方々がおられる現実  
に胸が締め付けられる思いがします。

1月9日(火)の始業式の時も1月24日(水)の水曜集会の時にも、この地震のことを  
柘植小学校の子どもたちには話をしました。今、みんなで勉強ができていたり、水や  
電気があたり前のように使えていることに感謝するとともに、いつ起こるかもしれない  
地震などの自然災害に備えていくことについても話をしました。防災ノートを使った学習  
も各学年で行っていますので、ぜひお家でも万が一の際の避難についてご確認ください  
ばと思います。どうぞよろしくお願いたします。

## 2月の行事予定等

5日(月) 委員会活動	<3月>
7日(水) 避難訓練	1日(金) 六年生を送る会
11日(日) 建国記念の日	18日(月) 卒業式
12日(月) 振替休日	25日(月) 修了式・離任式
家庭学習強調週間 (~23日)	<4月>
13日(火) 育友会一斉登校指導	8日(月) 着任式・始業式 入学式
教育ボランティア会議	
14日(水) 水曜集会	
16日(金) 学習参観・学級懇談会	
育友会役員選挙開票	
23日(金) 天皇誕生日	



## 学校評価へのご協力ありがとうございました

2学期末に実施した学校診断票(保護者アンケート)へのご協力、ありがとうございました。その集計結果を、児童アンケートの結果とともにお知らせします。

# がっこうしんだんひょう じどう けっか 学校診断票（児童アンケート）の結果より

◇結果は、「Aよくあてはまる」「Bややあてはまる」「Cあまりあてはまらない」「Dまったくあてはまらない」のうち、肯定的回答であるAとBを合わせた割合を示しています。

	アンケート内容	1学期末	2学期末
1	学校へ行くのが楽しい	91%	91%
2	授業はわかりやすい	92%	93%
3	漢字や計算の勉強を、最後まであきらめずにやりきろうとしている	95%	93%
4	忘れ物に気をつけて、提出期限も守ろうとしている	93%	96%
5	テレビやゲームの時間を決めて、家庭学習の時間を守ろうとしている	87%	80%
6	勉強や話し合いを通して、自分の考えを持てるようになってきている	88%	94%
7	「わからない」と言えることも含めて、自分の考えを伝えることができるようになってきている	86%	90%
8	先生や人の話をよく聞こうとしている	97%	97%
9	本をたくさん読もうとしている	88%	83%
10	困っている友だちのそばで一緒に考えたり、解決するように行動したりしている	96%	91%
11	自分には、よいところがあると思う	79%	80%
12	「おかしい」「なくしたい」と思うことがあったら、それをなくすように行動しようとしている	87%	91%
13	聞きとり学習や体験活動を通して、将来の仕事や生き方について考えようとしている	91%	88%
14	元気のよいあいさつを心がけている	93%	93%
15	みんなの前で発表する時、大きな声でしっかりと伝えようとしている	87%	91%
16	将来の夢を実現するために、今がんばろうと思うことがある	82%	82%
17	言われてからやるのではなく、自分から仕事を見つけて動くようにしている	88%	85%
18	日記で自分の生活についてたくさん書くようにしている	85%	83%
19	友だちの一枚文集を読んで、その子の考えていることや生活がわかってきた	95%	86%
20	友だちが打ち明けてくれたことに対して、自分の経験や生活と重ねて返すようにしている	88%	87%
21	学級の活動や委員会活動、はばたき活動などで、みんなが気持ちよく過ごせるようにしている	97%	91%
22	困りごとや不安なことが出てきたら、先生たちに相談することができる	69%	70%

全体としては、ほとんどの項目で80%以上の肯定的回答となっていますが、いくつかの項目で1学期よりも2学期の数値が下がっているところがありますので、3学期はその改善に努めてまいります。中でも、「5 テレビやゲームの時間を決めて、家庭学習の時間を守ろうとしている」（2学期末80%）の項目は、十分な家庭学習を行うためにもとても重要ですので、各ご家庭でもスクリーンタイムの把握と管理をよろしくお願いたします。また、「9 本をたくさん読もうとしている」（2学期末83%）の項目は、今年度、学校全体で重点的に取り組んでいる内容にもなりますので、各ご家庭でも読書習慣の定着にご協力いただければと思います。

がっこうしんだんひょう 学校診断票 (ほごしゃ 保護者アンケート) の結果より


	アンケート内容	2学期末
1	学校はなかまづくりを大切にし、いじめのない学校にしようとしている	91%
2	学校は基礎基本の定着を大事にし、子どもの学力を高めようとしている	91%
3	学校は明るく前向きな雰囲気、学年に応じた人権学習をすすめようとしている	90%
4	学校は自分の生き方や将来の自分を考えさせようと、体験活動などとしている	91%
5	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている	90%
6	子どもは自分の学級が楽しいと言っている	90%
7	子どもは授業がわかりやすいと言っている	91%
8	子どもは学習への意欲をもち、勉強の仕方がわかってきていると思う	68%
9	子どもは本を読むことに興味をもってきていると思う	53%
10	子どもは将来への夢をもち始めていると思う	60%
11	学校は子どもの気持ちや生活の様子・学習の課題をつかもうとよく努力している	85%
12	学校は一枚文集などで子どもどうしをつなげようとよく努力している	85%
13	学校は子どもをしつけ、社会的な力をつけようと指導している	90%
14	学校は子どもの能力や努力を公平に評価している	91%
15	学校は保護者の話をよく聞いてくれ、相談しやすい	85%
16	運動会・社会見学・学習参観などの行事や集会活動などは、子どもたちが楽しめるよう工夫されている	87%
17	学校の教育方針がわかりやすく伝えられている	90%
18	学校マニフェストは共感できる	90%
19	学校は、柘植小だよりやホームページの更新など学校の情報をよく知らせようとして	89%
20	学校は、保護者の意見を取り入れて学校改善に努めようとしている	91%

17項目で80%以上の肯定的回答をいただきましたが、この肯定的回答の割合がさらに高くなるよう、学校としての取組を進めていきます。改善すべき項目としては、まず、「8 子どもは学習への意欲をもち、勉強の仕方がわかってきていると思う」(68%)という学習への意欲やそのやり方に関わる部分です。この改善には、単に宿題をこなすというだけでなく、自学自習の力を身に付け、今の自分と将来の夢を結びつける必要があると考えています。

次に、「9 子どもは本を読むことに興味をもってきていると思う」(53%)という読書に関する項目です。今年度、子どもたちの読書への意欲を高めるために、学校では「読書貯金通帳」「ブックトーク」「ペア読書」などの取組を進めています。このことにより、子どもたちが読書をする量や新しい本に触れる機会はこれまでより格段に増えています。しかし、家庭で本を読むという習慣にまでは至っていないのが現状ですので、宿題の中に読書を組み込むなどしながら読書習慣の定着を図っていきたいと思います。

# 学校診断票（保護者アンケート）自由記述へのご回答

学校全体に関わる質問やご指摘等、貴重なご意見をいただきありがとうございました。真摯に受け止め、職員全体で共有するとともに、今後の教育活動にいかしてまいります。なお、抜粋した回答を掲載しますが、不明な点等がありましたら、担任または管理職までお問い合わせください。よろしくお願いたします。

1. 学校への感謝・応援のメッセージ…とても心強く思っています。ありがとうございます。
2. ホームページについて…日々の学習や各行時等における子どもたちの様子を、タイムリーにお届けしたいと思えます。右側の二次元コードを読み取ってアドレスをご登録いただき、ぜひ、随時ご確認ください。
3. 柘植小フェスティバルについて…伊賀市の教育方針の3本柱である「学力」「人権」「キャリア」を踏まえて学習を進めていることが伝わるよう、発表内容を工夫していきます。
4. 学校での子どもたち同士のトラブルについて…指導や対応が遅れることのないよう気をつけるとともに、ケースに応じて、学年全体や関係するご家庭にお知らせしていきます。
5. 職員の子どもへの言葉がけについて…子どもたちが意味を十分理解できるよう、発達段階に応じた言葉がけを行っていきます。
6. 基礎基本の徹底について…子どもたちの学力を高めていくための第一歩は、まず基礎基本の徹底にありますので、漢字や計算の練習は家庭学習も含めて十分行っていきます。
7. 運動会の応援席について…児童の安全を最優先に応援席を設定していますが、小規模校のメリットをいかすためにも、保護者の皆様のご協力をいただきながら場所を再検討します。
8. PTA人権講演会について…様々な人権課題について、保護者の皆様と一緒に学んでいく機会となるよう進めていきます。
9. 学級通信や一枚文集について…学級の様子や子どもたちの考え等が分かるよう、できるだけタイムリーに発行していくようにします。
10. 行事等の見直しについて…コロナ禍3年間を経て、様々な行事を再開するにあたっては、目的や意義、開催時期・方法等を検討し、より子どもたちが成長したり活躍したりできる機会になるよう考えています。
11. 英会話の授業について…小学校における英語は、3・4年生の外国語活動としての週1時間、5・6年生の教科としての週2時間と決められていますので、その範囲内で行っています。
12. 人権学習について…小・中・9年間の中で、様々な人権課題や人権確立の歴史について学習していけるようカリキュラムの見直しを進めていきます。
13. 運動会の得点について…行事等の見直しの中で運動会を半日開催とさせていただいていますが、今の種目数で色別の得点による対抗戦ができるかどうかを再検討してみます。
14. 各行事への準備について…行事の計画やシナリオの作成等が遅れると、子どもたちや保護者の皆様への負担が大きくなってしまいますので、先を見通して計画的に進めるようにします。